



問 産業団地の総事業費はいくらですか

答 県の総事業費は約18億円と聞いています(町長)

美里町甘粕地区産業団地の整備事業について

問

全体計画として、ア
施工場所 イ事業期
間 ウ施行面積 エ分譲面
積 オ総事業費をお聞まし
ます。

町長

施工場所は県道本庄寄
居線の東側と寄居ス
マートインターチェンジ産業
団地の西側に位置する、大字
甘粕地内となります。事業期
間は令和9年度までを見込ん
でおり、施行面積は約7万
5,600平方メートルで、
道路等の面積を除いた分譲面
積は約6万300平方メー
トルです。

問

団地内の道路面積は約5、
400平方メートル、公園と
緑地で約4、200平方メー
トル、調整池は約5、500
平方メートルの計画で、産業
団地の県の総事業費は約18億
円と聞いています。

令和6年度の事業内容
について、今後のスケ
ジュール(予定)をお聞まし
ます。

町長

令和6年度の事業内容
としては、県との農地
調整の目途がついた段階で農
振農用地区域からの除外と、
できれば今年度内には地権者
との土地売買契約を完了させ
たいと考えております。

まちづくり中心拠点地区の事業推進について

問

松久駅の北口計画や商
業施設の進捗状況と寄
居スマートインターチェンジ
から国道まで繋がるアクセス
道路を町民は期待している
が、どのようにお考えかお聞
きます。

町長

今後、駅北側に商業施
設や文教施設ができ、
賑わいが創出されると北側へ
のアクセス向上を検討する必
要があると考え、JR東日本
に駅北口改札の整備を要望し
ています。ただし、改札口に
つきましては、今後のまちづ
くり中心拠点地区の整備状況

や路線南側への住民の利便性
の維持など、どのような形が
望ましいのか、また費用も考
慮し検討してまいりたいと思
います。

次に、寄居スマートイン
ターチェンジからのアクセス
道路については、通過交通を
前提とした要望を埼玉県へ
行つてまいりましたが、新た
な県道の位置づけは難しいと
回答がありました。一方で、
現在まちづくり中心拠点地区
の整備事業を進めており、魅
力を最大限に発揮させる効果
的な道路ネットワークの構築
が求められます。この観点か
ら、国道254号までのアク
セス道路は必要と考えますの

で、整備可能性を模索したい
と考えています。





町の公共交通のあり方について

答

現状では交通空白区域に該当しないのではないかとというふうに考えております（町長）

問

今回、自家用有償旅客運送事業は、本年4月末に規制緩和されました。自家用有償旅客運送事業の規制緩和で、直近、これからできる政策も増えたと思います。が、町の見解を伺います。

町長

町としては、議員ご指摘した、交通空白地域が弾力的に運用されたというふうにお話をいただきましたが、現状では我々は、交通空白区域に該当しないのではないかとというふうに考えておりますので、タクシー運転手の不足や代替バスの利用者減から、ライドシェアのさらなる規制緩和の動向を今後も注視をして、小学校の統廃合に合

問

わせたスクールバスの活用も含めまして、美里町に合った公共交通を引き続き検討してまいりたいと思っております。

日本版ライドシェアに
はもう一つ、タクシー
会社が運行主体となつて、大
都市圏を運行することを想定
した自家用活用事業（道路運送
法第78条第3号に基づくもの）
があり、こちらも2024年
4月に解禁されています。小
松市ではパブリックテクノロ
ジーズ、加賀市ではウーバー
初の自治体サービスです。今
後、このようなIT企業との
連携で、スピーディーな行政
サービスの構築を図らなけれ

ばならないと思いますが、町の見解を伺います。

町長

定年退職をして地域にいらつしやる元気な高齢の方々、結構おります。こういう方々に、例えばスクールバスの運転者さんですとか、こういったライドシェアの運転手さんですとかというものと地域づくりみたいなものを、うまく掛け合わせながらの組織というのはあってもいいのだろうというふうに思っています。排除するわけではないのですが、規制緩和みたいなもの、それから十分そういったもので地域の需要が満たせるようなものというのが出てくれば検討し、また

問

模索をしていきたいなと思っています。

町長

富山県射水市では、新しい地域公共交通の試みとして「べいぐるん」の運行を始めました。現在では、地方自治体独自のいろいろなアイデアを駆使した交通がイノベーションされておりますが、町でもこのような企画やアイデアがあるのか見解を伺います。

町長

今後、中心拠点地区において商業施設など主要な目的地が創出されることにより、住民の移動ニーズも変化すると考えます。引き続き美里町に合った移動手段、また議員ご指摘の交通空白地



域でないということが分かれ、それに向けて研究してまいりたいというふうに考えております。



エアコン取付費用の補助金制度について

問

地球の温暖化が進み、エアコンなしでは、夏場において良質な睡眠が取れない状況になっています。まして日中は、熱中症により命の危険にさらされることもあります。35度以上の猛暑日の更新は、熊谷で、2019年21回、2020年23回、2021年19回、2022年26回、2023年45回、恐らく今日も猛暑日となり、去年の記録をまだまだ更新する模様です。今日を入れますと、47回の猛暑日を記録することになると思います。年々増加

問

低所得世帯向けにエアコンの取付費用の補助金制度を

答

十分我々も協議をさせていただきながら検討していきたい(町長)

傾向が分かっていたらと思います。

町のクールオアシスやクーリングシェルターも用意されていますが、これだけで大丈夫なんでしょうか。ぜひ低所得世帯向けにエアコンの取付費用の補助金制度を創設できないか伺います。

町長

ご質問の低所得世帯に保護制度においては、エアコンの設置が現在認められており、本体購入費と設置費用が支給されます。しかし、既に生活保護費を受給されている世帯については、新たな購入設置費の支援はありません。

問

今のところ、エアコンが設置されておらず、暑さに困っているという話は町には寄せられておりませんが、困っている方がいらっしゃるということであれば、ぜひ助成制度の創設について検討したいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

町長

美里町には、住宅改修資金補助金事業というのが今存在しています。この事業には、屋根、外壁、雨漏りの改修、台所、洗面台、浴室、トイレ改修、ふすま、畳、窓ガラス等とバリアフリーの改修工事などがあります。この中にはエアコンというのは入っていません。ぜひ、この中に低所得の方を加えていただけたらと思います。この改修事業は、地震があつた時にすぐ役に立った制度です。ですから、その時のために、何か事が起きた時のために私は必要だと思っています。

現状は、このリフォームの補助金は、いろんな改修をする中で、エアコンも入るということも一つの基準にはなっておりますが、エアコン単独ということは、現状では今考えておりません。ご質問いただきましたので、十分我々も協議をさせていただきながら検討していきたいと思っています。

町長

現状は、このリフォームの補助金は、いろんな改修をする中で、エアコンも入るということも一つの基準にはなっておりますが、エアコン単独ということは、現状では今考えておりません。ご質問いただきましたので、十分我々も協議をさせていただきながら検討していきたいと思っています。





問

AIを使ったオンデマンド送迎システムの構築について

答

予約状況に応じて最適ルートを決めて運行できる点が大きなメリットと認識しています(町長)

問

数年後に小中一貫校が開校される予定であり、スクールバス(15台)が空いている時間を有効活用し、AIを使ったオンデマンド送迎システムを構築することで高齢者の移動手段を確保し、生活の質を向上させる可能性があります。町のお考えを伺います。

町長

スクールバスが空いている時間にデマンド交通として、地域住民の足として有効的に活用することは、町の公共交通の課題解決の一つの手段となる可能性があると言えます。

問

AIを使ったオンデマンド送迎システムの構築

町長

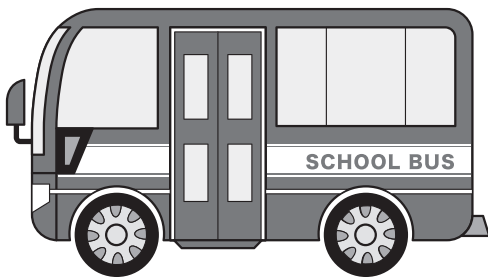
本庄市がデマンド交通を入れる際に、児玉郡市全域でやろうとお願いをしましたが受け入れてくれませんでした。議会として本庄市にお願いをするということはあるのかというふうに思っています。

問

AIはあつという間に進化しているので、コストもどんどん安くなると思うのですが、スクールバスの実証実験について伺います。

町長

デマンド交通の場合には国からの補助金もありますので、郡市がそれぞれに通信を受けていても仕方がないので、一ヶ所で全部それができるのであれば、より効率的であると思います。



猫の多頭飼育の対応について

問

近年、私の住んでいる地区でも多頭飼育が問題となっています。TNRとは Trap・捕獲、Neuter・不妊手術、Return・猫を元の場所に戻すというもので、ボランティア活動の中で獣医師による不妊手術が行われておりますが、猫の予防接種費用(約5000円)について、町が負担することを検討しているのか伺います。

また、町は不適切な飼育や虐待に対する取り締まりのための条例を制定するお考えはあるのか伺います。

町長

条例に関しては、過料を設けて指導、命令、勧告までやって、そこでダメだった場合には過料をする。町で条例を設けることにより、住民の皆さんに周知をして、餌やりや飼育方法、予防接種の助成も含めて、条例化の中で再度検討していきたいと考えています。



A I オンデマンド送迎システムとは、人工知能(A I)を活用して利用者の予約に応じて最適な運行ルートを設定し、配車を行う交通サービスです。

